

【 投 薬 】

7 4 7 肝性脳症のない肝不全に対するアミノレバン E N 配合散の算定について

《令和 7 年 1 1 月 2 8 日》

○ 取扱い

肝性脳症のない肝不全に対するアミノレバン E N 配合散の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

アミノレバン E N 配合散は、体内に分岐鎖アミノ酸（B C A A）などのアミノ酸を補充しアミノ酸バランスを整えることで、肝性脳症の症状や肝障害における低栄養状態などを改善する肝不全用栄養剤で、添付文書の効能・効果は「肝性脳症を伴う慢性肝不全患者の栄養状態の改善」である。

以上のことから、肝性脳症のない肝不全に対するアミノレバン E N 配合散の算定は、原則として認められないと判断した。

ただし、肝硬変または肝不全があり、肝性脳症の一因となる血中アンモニア濃度の上昇や高値が判断できる傷病名や症状詳記がある場合には、その内容をもって個々の症例によって判断する。